

矢護川団地に広がる“アートの力”

熊大生と住民が力を合わせて描いた「夢の矢護川」

この度、町と熊本大学の学生団体Co-彩が協働し、「矢護川団地魅力向上プロジェクト」を実施しました。空室が増えている団地に新しいにぎわいを呼び込み、地域に開かれた交流を広げる取り組みです。

昨年11月には、学生と団地・下中区を中心とした住民が壁画を制作。子どもたちと考えた「未来の矢護川にほしいもの」をもとに、学生がデザインを考案しました。たくさんの動物、矢護川のヒーロー「グランパワーヒノクニ」、そして矢護川を照らす螢などが描かれています。若者の力と地域の思いが重なり生まれたこの壁画を起点に、地域の新たなつながりと活力を育てます。



壁画のお披露目セレモニーに集まった皆さん(11月30日)



住民と学生が「未来の矢護川」を語り合った
ワークショップ(10月)



下中区の皆さん用意してくれた炊き出しを囲み、
学生と住民が自然につながる時間



子どもから大人まで
壁画制作に参加しました

多年にわたる功績に敬意を表して

令和7年度大津町自治功労者表彰

「令和7年度大津町自治功労者表彰式」が昨年12月4日、大津町定例議会の冒頭で行われました。この表彰は、町の地方自治を振興することに顕著な功績があった人に贈られるものです。

表彰式では、金田町長より受賞者の皆さんに表彰状が贈られた後、受賞者を代表して太田昭子さんが謝辞を述べました。受賞者は次のとおりです。



これまでの歩みに敬意を表して

自治功労者表彰被表彰者

(敬称略)

■特別職として12年以上勤続

大津町議会議員 桐原 則雄、佐藤 真二

大津町固定資産評価審査委員会委員

吉田 光宏

■職員に準ずる人で8年以上勤続

行政区嘱託員 井 江津子

防災指導員 坂梨 裕史

大津町文化財保護委員会委員 西村 和正

社会教育委員会委員

太田 昭子、村越 美知子、今村 誠志

大津町国民健康保険事業の運営に関する

協議会委員 小西 壽美恵

大津町立図書館協議会委員 河北 恵理

大津町教育委員会外部評価委員会委員

藤本 猪智郎

※消防関係の被表彰者は、「消防出初め式」にて表彰を行います。

地域企業と学校をつなぐ

企業と学校との情報交換会

就職に関する情報交換会が昨年11月14日に開催され、町内の企業23社と県内の高校など20校から約70人が出席しました。主催は町企業連絡協議会で、採用についての悩みや、企業から必要とされる人材などについてグループを変えながら情報交換を行いました。企業からは「多くの学校と面談ができ、就職についての意見交換ができるよかったです」学校からは「企業が求める人材育成を考える機会になった」などの声が寄せられました。



各グループで対話が進み、活発に意見を交わしました

老人クラブ活動で元気に

グラウンドゴルフ大会を開催

「第56回大津町老連・交通安全協会大津支部協賛グラウンドゴルフ大会」が昨年11月14日に町民グラウンドで行われました。当日は晴天に恵まれ、110人が参加しました。開会にあたり、荒牧介護保険課長が老人クラブ連合会と交通安全協会に日頃の活動への感謝を述べました。競技は終始なごやかな雰囲気で進み、参加者の皆さんには交流を楽しみながら日頃の練習の成果を十分に発揮していました。



開会式で準備体操をする古江琢雄副会長と
老連・交通安全協会大津支部の皆さん

消防協力者へ感謝状を贈呈

初期消火の迅速な対応で被害拡大を防止

消防協力者への感謝状贈呈式が昨年11月21日に菊池広域連合消防本部で行われました。

10月11日に町内で発生した建物火災で、近隣に住む4人が消火器を用いた初期消火と居住者への避難誘導を迅速に行いました。この消火活動により延焼拡大を防ぎ、人的被害もなく、被害を最小限に抑えることができました。この功績を称え、感謝状と記念品が菊池広域連合消防本部より贈られました。



⑥公益財団法人日本公衆電話会熊本支部 本田秀昭支部長



ほんたひあき (前列左から) 表彰された本田義高さん、黨慶子さん、
とうきよのぶ とうのぶゆき 党清信さん、黨信幸さん